加工・業務用向け野菜の取組事例

1. 経営体の概要

- 名 称 株式会社基里OKファーム
- 所在地 佐賀県鳥栖市飯田町
- 会社設立 2013年3月
- 従業員数 役員2名、社員5名、パート9名
- 作付面積 59ha(うち加工・業務用 25.7ha)
- 栽培作物、キャベツ、たまねぎ、長ねぎ、 ばれいしょ、水稲、大豆、麦

(うち加工・業務用)キャベツ、たまねぎ、長ねぎ

〇 販売先 カット野菜加工業者、その他製造・加 工事業者、卸売事業者等

3. 今後の目標と課題への取組

<課題及び対応>

○ インターチェンジ建設に伴う物流団地の拡大が 計画されており、その影響を受け、農地が減少する ことを懸念。

今後は、生産の更なる高収益化、又は、6次産業 化の導入等新たな取り組みを検討中。

現在、6次産業化の一環として、かんしょ加工品の 製造・販売に取り組んでいる。

また、新インターチェンジを活用し物流の効率化を 図りたい。

<今後の目標>

○ 需要者との信頼関係の構築が重要であり、協力 生産者へもJ-GAP導入を推進。

2. 取組の経緯と特徴

<取組の経緯>

○ 高齢化や担い手不足で悩む地元地域の農業発展を担うべく、2013 年3月、若手新規就農者3名で法人を設立。

定価販売により経営の安定化が図られ、事業計画を描きやすい加 工・業務用野菜に取り組む。

<取組の特徴>

- 加工・業務用野菜については、すべて契約栽培。
- 移植機、ブームスプレーヤ、収穫機など機械化を進め、運搬は鉄コ ンを導入、集出荷施設を整備するなど省力化・効率化を実現。
- 協力生産者10軒と契約栽培を行い、安定供給体制を強化。
- 協力生産者に対し、種苗の供給、作付面積、生産量及び単収計算 等の管理を行うなど経営支援を実施。
- 野菜の差別化を図り、需要者との信頼関係を構築するため、J-GAP を取得。





Nº:3

キャベツのほ場

<お問い合わせ先>

株式会社基里OKファーム(0942-50-8190)